



2安打の活躍前田選手。試合をつくった秋山投手。

悔しさをバネに

～ 第41回社会人野球日本選手権 ～

10月31日、京セラドーム大阪を会場に第41回社会人野球日本選手権の1回戦、東北地区代表TDK対東海地区代表永和商事ウイングの試合が行われました。

TDKは、初回に前田選手の3塁打でチャンスをつくり先制に成功。その後は先発、1年目の秋山投手が東北予選の好調そのままに相手打線を抑え、優位に試合を運びます。しかし、最終回に逆転を許し2対3で初戦突破を逃しました。にかほ市からは、6年ぶりとなった日本選手権に約100人の応援団が駆けつけましたが、勝利目前の敗退に、選手同様悔しさをにじませていました。

ジオパークの見どころを巡る

～ ジオパークモニターツアー ～

10月31日、象潟庁舎に事務局をおく「鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会」が主催するモニターツアーが行われ、約20人の市民が参加しました。

今回のツアーではジオサイト（見所約60カ所）の1つである九十九島と波除石垣を、ガイドの案内により巡り、ジオサイトとジオパークの知識を深めました。また、午前中には関連事業として、金浦海岸の松林の落ち葉やゴミを収集するボランティア活動も行い、環境保全にも取り組みました。1日を通して地域の魅力を再発見するツアーとなったようでした。



九十九島にてガイドの案内に耳を傾ける参加者

心と体をほぐす

～ にかほ市健康まつり 市民健康講座 ～

11月3日、スマイルでセルフアドヴァンス協会代表理事の水科江利子氏による「輝け、私！笑おう・ほぐそう・心と体」と題した市民健康講座が行われました。

水科氏は「言葉の力」「イメージの力」をキーワードに、ストレス状態とリラックス状態が心や体、生き方に大きな影響をおよぼすことについて講演くださいました。

また、1人で簡単にできる筋膜ケア、美脳イメトレを、この日参加した約80人の聴衆者に実技を交えながら指導してくれました。会場内は終始笑いに包まれ、実技後の体の変化に驚きの声でいっぱいとなりました。



心と体のセルフメンテナンス



お友達や父兄らと力を合わせ植樹を行った

立派なさくらに育ってね♪

～ 院内地区地域振興協議会の植樹事業 ～

10月30日、院内小学校の駐車場を会場に院内地区地域振興協議会の植樹事業が行われ、院内小1年生28人の手により6本の桜の苗木が植えられました。

これは、今年の4月に院内小と小出小が統合された事を記念し行われたもので、新院内小初の1年生がいつまでも忘れない思い出を残して欲しいとの協議会の思いが込められています。あいにくの天候の中、お友達と一緒に植樹を行った竹村莉緒さんは「はやくキレイな桜を咲かせてほしいです。みんなと花見がしたいです」と語り、自らが植えたソメイヨシノを見つめていました。

心に呼び掛け、変えてゆこう

～ 第52回にかほ市少年弁論大会～

10月30日、仁賀保中学校で第52回にかほ市少年弁論大会が開催され、市内3中学校からそれぞれ3人の弁士あわせて9人が出場しました。

弁士は、防犯の部、防火・防災の部、交通の部をテーマにして、自身がこれまでに体験してきた出来事やこれからの目標とどう考え行動して行くべきかなどを熱弁。5分間という限られた時間の中ではありましたが、時に静かに論ずるように、時には荒々しく訴えました。

会場では弁士の訴えを聞き、自身の姿を重ねて真剣に考え清聴する生徒と一般の皆さんの姿が見られました。



5分間に思いを込める弁士たち(受賞者はP5に掲載)

100円商店街が街にできた！

～ 平沢100円商店街 ～

10月31日、平沢ぶらり商店街振興会が主催する「平沢100円商店街」が国道7号線沿線も含めた51店舗で行われ、市民などで賑わいました。これは商店街に賑わいを取り戻そうと振興会が、初めて企画し開催したもので、100円で商品やサービスを楽しんでもらおうと、各店舗とも工夫したコーナーを設け来場者を喜ばせました。

仁賀保駅内の食堂では100円（串代20円別）で玉こんにゃく差し放題が行われ、親子連れや駅利用者らが真剣な表情で挑戦していました。ふるさと宣伝大使「ケース&マサ」も生ライブで華を添えてくれました。



早くも来年の継続が決定しているそうです。